

Social Entrepreneur Training Program 2023

ソーシャルアントレプレナー育成プログラム
～社会課題をビジネスを通じて解決する～

2023.6.24～2024.1.27 (全8回)

対象者

- ・社会課題の解決のためのアクションをしようと考えている人
- ・起業している人 ・起業を考えている人 ・企業の事業開発担当者等
- ・SDGsに資する事業の構築をしたい人

これから社会的企業（ソーシャルエンタープライズ）を起こす予定の方、すでに起業しているもののまだ思うような社会的成果を生み出せていない方、事業会社における新規事業開発の担当者や社内起業家で社会的価値を生み出したい方、そのほか、社会的企業に高い関心のある大学生・大学教職員・行政関係者など幅広い方々のご参加をお待ちしております。

会費

5,000円（全8回分、交流会費を含む）

※交流会でのネットワークも、重要なカリキュラムの一部です。

全8回ご出席を前提として交流会費を含む参加費を初回に徴収いたします。

申込み

締切：6/17（土）

申込み受付後に事業プランを提出いただき、選考を行います。

※事業プランを記載するフォーマットをお送りします。

※通過者には6/20（火）までにメールで通知をいたします。

URL：https://urban-ii.or.jp/events/detail.php?event_id=530



会場

公益財団法人都市活力研究所

大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪ナレッジキャピタル タワーC 7階

主催：公益財団法人都市活力研究所

概要

エフェクチュエーション、アートシンキングと言ったイノベーション思考の実践者であり、社会的価値創造の教育者でもある神戸大学 客員教授 佐藤正和氏 とソーシャルインパクトマネジャーであり、複数の自治体等にてSDGsのアドバイザーを務める今田大介氏による社会課題をビジネスを通じて解決するアントレプレナーに必要な思考を学ぶ全8回の講座です。

VUCAの時代におけるアントレプレナーのマインドセットを涵養するとともに、社会問題を解決するために必要なイノベーション思考力、事業創出を推進する実践力の修得を目指します。

講師

佐藤正和氏

株式会社アーテラ 代表取締役 / 神戸大学 客員教授

これまで約20分野での創業・事業化、M&A・IPOを経験するポートフォリオアントレプレナー。

2016年からは日本茶業界に身を置き様々なイノベーション・事業承継に取り組む。

①抹茶の魅力をさらに高めるために宇治抹茶卸流通トップの北川半兵衛商店(京都)との共創により誕生したブランド「祇園 北川半兵衛」のプロデュース。

②抹茶以外の日本茶の価値を高めるためにベネフィット(静岡)とは次世代飲料であるボトリングティの共同開発や出廻らし・耕作放棄茶葉の再活用に取り組む。

③茶道界や抹茶スイーツで著名な祇園辻利(京都)とは茶道のモダン化・アート化を目指した新文化形成など日本茶全般に関するイノベーション促進に取り組む。

また、大学・大学院等でイノベーション、アントレプレナーシップ領域で教鞭をとり、教育者歴は20年に及ぶ。専門は「アート思考」「エフェクチュエーション」「M&A」。



今田大介氏

ソーシャルインパクトマネジャー

複数の自治体でSDGsのアドバイザーを務める。

尼崎市では電子地域通貨「あま咲きコイン」の「SDGsポイント」「SDGsサポーター制度」を考案。

尼崎市課題解決型ソーシャルビジネスコンペでSDGsに対応した事業にて市長賞を受賞するなどソーシャル分野・SDGs分野をメインフィールドとしている。

企業理念をSDGsに結びつける社会的インパクトマネジメントを活用した「Vision-Based SDGs」を提唱しSDGsに資する事業構築支援を行政・民間企業に対して行う。現在は社会的インパクトマネジメントにアート思考を取り入れた手法の開発にも取り組んでいる。

MBA(経営管理学修士)、准認定ファンドレイザー。



Program

講義 13:30～17:00
交流会 17:00～19:00
※交流会では軽食をご用意します。

第1回 2023年6月24日(土)

「アントレプレナーシップについて」

- ・オリエンテーション 当プログラムの説明
- ・ソーシャルアントレプレナー、ソーシャルイノベーションとは
- ・「エフェクチュアル・アートシンキング」について
- ・社会課題をビジネスで解決すること
- ・新しい時代の価値観としてのSDGs
- ・ワーク「その事業はどんな社会課題を解決するのか」

※当プログラムのコアとなる「エフェクチュアル・アートシンキング」の概要と社会課題が
明文化されたものであるSDGsを捉える視点について解説します。

第2回 2023年7月22日(土)

「社会課題の捉え方について」

- ・エフェクチュアル・アートシンキングの4つのプロセス
- ・「彼らと共有された夢」と「彼らと共有された志」を見つける
- ・「自己と他者」～現代版「自利利他」の在り方～
- ・「他者と社会の関係」～社会課題と顧客課題を結びつける～
- ・「彼らと共有された美意識」の創り方
- ・ワーク「価値創造か課題解決か」

※社会課題について「自利利他」と「美意識」の観点から捉えます。

美意識は過去の自分の集合体であり、社会に対する判断基準でもあります。

他者とどのように美意識を共有するのか? 「自利利他」という観点から皆さんと一緒に考えます。

第3回 2023年8月26日(土)

「エフェクチュアル・アートシンキングと社会的インパクト」

- ・社会的インパクトとは
- ・問題、課題、解決の関係
- ・「価値」とは～価値創発と価値設計の関係～
- ・社会的インパクトマネジメントについて
- ・ワーク「事業の社会的インパクトのロジックモデルをつくる」

※事業がもたらす社会的なインパクトはどのようなものか? 金銭的な価値以外にもたらす価値
について「アウトカム」の発想で考え、社会的インパクトマネジメントの手法で事業のロジック
モデルを作成します。

※なお、プログラムは変更する可能性があります。
あらかじめご了承ください。

主催:公益財団法人都市活力研究所

Program

講義 13:30～17:00
交流会 17:00～19:00
※交流会では軽食をご用意します。

第4回 2023年9月23日(土)

「ソーシャルアントレプレナーとビジネスモデル①」

- ・アートとしてのビジネスモデルキャンバスを鑑賞する
- ・エフェクチュアル・アートシンキング式ビジネスモデルキャンバスの要諦
- ・ココウエルのビジネスモデル
株式会社ココウエル 代表取締役 水井裕 氏
- ・ワーク「ココウエルのビジネスモデルキャンバスをつくる」

※ココナッツのみで事業を展開している株式会社ココウエルの水井氏をお招きし、事業の内容について話を伺います。
その事業モデルをビジネスモデルキャンバスとして制作・鑑賞することでビジネスに対する眼力を養うきっかけとします。



第5回 2023年10月28日(土)

「ソーシャルアントレプレナーとビジネスモデル②」

- ・ケーススタディ；ふたごじてんしゃのビジネスモデル
株式会社ふたごじてんしゃ 代表取締役 中原美智子 氏
- ・ワーク「ふたごじてんしゃのビジネスモデルキャンバスをつくる」

※自らも双子の母である株式会社ふたごじてんしゃの中原氏をお招きし、事業内容について話を伺います。事業モデルをビジネスモデルキャンバスとして制作・鑑賞することでビジネスに対する眼力を養うきっかけとします。



※なお、プログラムは変更する可能性があります。
あらかじめご了承ください。

主催：公益財団法人都市活力研究所

Program

講義 13:30～17:00
交流会 17:00～19:00
※交流会では軽食をご用意します。

第6回 2023年11月25日(土)

「CSV型ソーシャルイノベーションを導くビジネスモデル策定」

- ・ CSV とソーシャルビジネスの関係
- ・ CSR と CSV の関係
- ・ 「彼らと共有される時空間」が偶発的なイノベーションを創出する
- ・ ワーク「社会的インパクトのアウトカム指標を考える」

※CSV(Creating Shared Value): 共通価値の創造と CSR(Corporate Social Responsibility): 企業の社会的責任の関係について解説します。ワークでは事業がもたらすアウトカムは何によって可視化されるのか考えます。

第7回 2023年12月23日(土)

「実践ワーク DAY」

- ・ 機会、価値、アイデア、ビジネスモデルの変化への向き合い方
- ・ ソーシャルイノベーションのためのリゾーム組織の重要性
- ・ ワーク「参加者同士でのサポートワーク、事業アドバイス、事業コラボ」

※参加者の事業について参加者同士によってアドバイスやコラボの可能性など考えます。横断的に皆がつながり多様な人達による共創が起こることで、各自の事業がより鮮明になることが期待されます。

第8回 2024年1月27日(土)

「事業案発表」

- ・ 各回の振り返り
- ・ 参加者による事業案の発表

講評 神戸大学大学院経営学研究科 教授 忽那憲治先生



※アントレプレナーシップ、イノベーション、アントレプレナーファイナンスを主な研究領域とされている忽那先生は自らも事業を展開するイノベーターです。理論家であり実践者である忽那先生から各自の事業プランについて講評していただきます。

※なお、プログラムは変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

主催：公益財団法人都市活力研究所